

有田市 ぶっとく幼稚園幼年消防クラブ

和歌山県有田市ぶっとく幼稚園幼年消防クラブ
園長 菅田 良仁



〈活動状況紹介〉

和歌山県有田市ぶっとく幼稚園幼年消防クラブです。私たちの住む有田市は、海、川、山と自然に恵まれ農業、漁業が盛んな町です。農業の中心は400年来の歴史と伝統をもつ有田みかん。全国各地に出荷され、とても美味しいとの評価をいただいています。漁業においても海の幸は豊富で、特にタチウオは全国一の水揚げ量です。

私たちのクラブは、昭和60年9月に結成され、長きに渡り活動を続けています。現在のクラブ員数は年長、年中合わせて50名で、運営、指導として教諭があたり本クラブを組織しています。

年間を通じての活動は、避難訓練、消防フェスティバル、防火パレードなどです。避難訓練では、本クラブの目的でもある「災害から人命と財産を守る人間となる」ということを念頭に、災害について真剣に考え備えています。「みんなでなろう災害に強い有田市民」をスローガンに実施する消防フェスティバルでは、お遊戯・鼓笛演奏で

防火防災啓発を盛り上げています。火災予防運動に合わせて実施している防火パレードでは、消防団の方と協力し地域の防火啓発に積極的に取り組んでいます。

これからも地域の方や消防団の方々とともに、防火・防災に繋がる活動を続けていきたいと考えています。



川崎市幸地区 少年消防クラブ

神奈川県川崎市幸地区少年消防クラブ

私達、幸地区少年消防クラブは神奈川県川崎市幸区で活動をしています。クラブ員は幸区子ども会連合会7地区で毎年地区を変え小学校3年生から6年生で構成しています。また当クラブの保護者は積極的に活動支援し、時には一緒に活動を行います。

令和4年度は運営委員4名のもと、クラブ員30名が活動を行いました。年間活動は幸消防署と協力して計画しますが、活動は川崎市消防局に全面協力をいただき、7月には幸消防署で結成式を行い、第1回活動として初期消火訓練、はしご車搭乗体験をしました。このはしご車は、世界初導入の40m級先端屈折式で3000砲放水が装備されているとのこと。第2回は、臨港消防署千鳥町出張所で100トン超級の大型消防艇「かわさき」の構造や消防艇の役割を学び乗船して東京湾を航行したほか、起震車による地震体験をしました。第3回は、消防航空隊で消防ヘリ

コプターの説明や実機への搭乗体験、第4回は、消防音楽隊によるクリスマスコンサート、第5回はクラブ活動の集大成として火災予防、119番通報、救急適正利用などを学びました。幸地区少年消防クラブを通じて普段の生活では学べない消防防災について多くを学び、良い体験をさせていただきました。今後も、消防防災に興味を持つクラブ員を一人でも多く育成していきたいと思いません。

